

管理運営実施計画の運営組織の考え方

7.(1) 運営の目的

芸術文化創造センターは芸術文化の創造性を活かしたひとづくり・まちづくりを実現するために、市民と専門家とが車の両輪となって地域に密着した運営を行います。

7.(2) 運営組織の考え方

芸術文化の創造性を活かすまちづくりを目標として、4つの使命（育成普及、鑑賞の提供、芸術文化創造、施設の提供）に基づく各事業が効率的に実現できること、特に、教育普及など公益性の高い事業の実施と市民参加を取り入れた運営を継続的に実施できることを重視して、管理運営方法を検討し選択していきます。

管理運営実施計画内のキーワード

- ・専門的な能力を有する人材の確保
- ・地域との連携や市民参加
- ・まちづくり
- ・長期的視点に立って公益性の高い事業を展開
- ・経費削減と業務の効率化
- ・地域の社会文化機関
- ・地域の社会的課題に目をむける
- ・創造性や企画性の高い自主事業の実施を促す
- ・事業内容の充実、専門人材の養成・確保、事業の継続性
- ・優れた実演芸術の制作
- ・公益性のあるまちづくり事業として、中長期的な文化政策
- ・事業収入や助成金、企業協賛等をふまえた収支計画
- ・効率的な運営
- ・公的資金の確保

芸術文化創造センターの運営において重視したいポイント

文化政策を長期的な視点で実現すること

- ・新たな担い手の育成を重視し、公益的な文化事業（アウトリーチやワークショップなどの育成型事業、普及型の鑑賞事業など）や教育や福祉にまたがるような事業の重要性が高いミッション
- ・市民参加や地域との連携、まちなかに広がっていく事業の実施も重要な位置づけとなっており、社会文化機関としての役割が課せられている。

効率性及び柔軟性の高い運営

- ・創造性や企画性の高い自主事業の実施に必要なアートマネジメントの知識を持った専門性の高い職員を配置することや、効率的な人事運用が出来ること。

- ・経費削減と業務の効率化、チケット収入や施設利用率の拡大、助成金や補助金・企業協賛金、ファンドレイジングなどを進め、経営的な視点で効率的な運営ができること。